



# 授業研究協議ステージアップ（発言の高まり）

Ver2 2019(平成31)年度版

## ステージ0 （感想）

授業の印象や感想を述べる

発言例

- ・話を聞く子供の態度がよかった。
- ・グループの話合いが活発でよかった。
- ・ノートをきれいに書いていた。
- ・板書がすっきりまとまっていた。



## ステージ1 （観察）

目に見える子供の姿や教師の手立てを述べる  
（事実を述べる）



〈子供〉

子供の観察の観点

- ・活動…どんな動きをしたか
- ・発言…何を述べたか
- ・友達との関わり…誰と何を話したか
- ・つぶやき…いつ、どんな、誰に
- ・表情…表情の変化の有無
- ・ノート…何を記録したか  
どんな考えを書いたか
- ・ものへの関わり…事物現象、表現、作品等にどんな働きかけをしたか

発言例

○さんは△△という活動(発言)をしていたのが印象(感想)に残った。

集団

○グループは、□□という活動(発言)をしていたのが印象(感想)に残った。

〈教師〉

教師の手立て観察の観点

- ・発問(発言)…どのような発問(または補助発問)をしたか
- ・問い返し…誰のどのような意見にどのように問い返したか
- ・指名…意図的指名か、どの意見の後に指名したか
- ・板書…いつ、どこに、どのように、配色、字の大きさ、掲示物、構成
- ・教材提示…どのタイミングで何を
- ・学習形態…いつ、全体、ペア、グループ、個人、友達訪問
- ・表情等…身振り手振り、視線、立ち位置、声の調子、目配せ、腕組み、姿勢

発言例

教師は、○○のときに(いつ)、みんなに(誰に)、△△という手立て(方法)を行っていたのがよかった(感想)と思う。

## ステージ2 （省察）

★子供の姿容に有効であった教師の手立てを述べる

★ねらいを達成するための本時の課題や振り返り、教材の扱い方が適切だったかを述べる

★集団による学びの成立について述べる

子供の姿容を捉えた観点は



※子供の姿容とは…**自信、習熟、仲間との関わり**等のUP(挙手の勢い、口調、書く勢い、意欲、発言の語尾表情、考え…)

〈子供〉

子供の姿容を(姿容の瞬間を捉えて)述べる

発言例

○○さんは、△△という活動(意見)をしていたが、□□という活動(意見)に変わった。

教科のねらいと本時の課題、振り返り、授業での教材の扱い方について述べる

- ・本時の学習課題や振り返りは適切だったか。
- ・教材の扱いは正しかったか、実態に合っていたか。

発言例

○○を提示したことは、△△の力を付ける上で有効だった。

集団による学びの成立との関連について述べる

発言例

○○さんの発言を取り上げながら発問したり、問い返したりしたことは有効だった。

〈教師〉

子供の姿容を促した教師の手立てを述べる

発言例

教師が○○のとき(いつ)△△さん(誰)に□□という手立て(方法)を行ったとき、子供が変わった。

## ステージ3 （一般化）

本時の授業の視点や授業改善のために一般化できるように述べる

本授業をよりよくするための「改善点」を話し合う

発言例

- ・こんなやり方はどうか？
- ・○○することで子供はよく考える(動く)のではないか。

本授業を参観して、自分の日々の授業でどう生かせるか話す

発言例

- ・～の手立ては○○教科でも生かせる。
- ・○年生では△△が有効だったが、○年生では△△したほうが有効だ。

自尊心の高まりについて話し合う

発言例・役割演技によって○○さんの学習意欲や自尊心の高まりが見られたので他の教科でも取り入れたい。

### 協議会 最後の発言例

【授業者】今日の協議内容から○○が分かりました。今後、△△を意識して、○○な授業を目指したい。

【参観者】今日の協議会で、○○を学びました。今後、△△を意識して、○○な授業を目指したい。

